

# うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が「取り組み」や NPO 団体などを紹介します。  
 問 まちづくり支援課 ☎82・3910/IP ☎88・9094



▲新型コロナウイルス感染終息祈願灯回廊

## 1 伊那佐『灯』Mate で、新型コロナ終息祈願!

伊那佐地区まち協

今年、新型コロナウィルスの感染拡大を考慮し、伊那佐『灯』Mate 2020も芳野川に灯籠を浮かべず八咫鳥神社で実施しました。昨年は地域の子どもたちや市内外の参加者の灯籠など数百の灯りが川面を照らしていましたが、八咫鳥神社では新型コロナウィルスの感染終息を祈願した約500個の灯りが、夕方になるとほんのりと神社の境内と参道をやわらかく照らしていました。



▲芳野川沿いの打上げ花火

今年、密集を避けるため8日間(9月19日~26日)にわたり開催したことで、家族連れや友人など多くの方が訪れました。最終日は芳野川沿いで大きな打上げ花火が10分間ほど打上げられ、近隣の方々があちらこちらで夜空を見上げて秋の花火を楽しんでいました。

## 2 マスクケース作り

神戸まち協

9月26日西山川向ふれあいセンターで、神戸まち協のフレンドサロンを開催しました。マスクが日々の必需品になっている昨今、食事などでは、マスクを外さなくてはいけないのですが、マスクの置き場に困っているという話を聞いて、そんな時に便利な、サツとしまえる「2つ折りマスクケース」を作ることにしました。食事などで外した時、置いた場所も汚さず、感染防止にもつながる便利なケースです。



▲普段の生活からアイデア作品

ビニール素材でケースの型を切り取り、折りたたみ用のフックをつけて、できあがりとなります。フック留めは、小さいボタンを留める細かい作業となり、お互いに協力しながら仕上げていきました。どれもシンプルなもの、これをビニール袋に入れて、紐で留めて完成です。



▲心を込めて作ったマスクケース

できあがった作品は、9月30日当まち協地内にある大宇陀こども園を訪問し、職員の皆さんに使ってもらうため、マスクケースを進呈しました。園児たちと触れ合うなかで、マスクの持ち歩きや保管のときに、収納と衛生面で安全なケースを、おしゃべりに使ってもらえれば幸いです。

## 3 榛原駅前『かなえば』冬時間に変更

榛原地区まち協

8月から始まった駅前活性化応援プロジェクト『かなえば』は、榛原駅前をにぎやかな市民の憩いの場にしたという思いでスタートし、現在4か月目となりました。

新型コロナの影響で「3密」にも注意して、現在はテイクアウトのみの営業です。毎週金曜日に開催していますが、日暮れが早くなりましたので、11月から冬時間の午後2時~6時に営業時間を変更します。焼きピザや鶏料理、揚げたてのほ

くほくクロッケ、手作りスイーツ、クレープ、クラフトビールほか、週替りで異なる店舗が出店しています。お子さま連れの方や学生の方など多くの方に来店いただいています。また、リピーターの方も少しずつ多くなってきました。いづどんな店が出店するかは、うだチャンネルのお知らせやフェイスブックでも案内しています。「Udaかなえば」で検索してくださいね。



▲熱々のピザが楽しみ~

販売など、多くの店が参加できる UDA OPEN STYLE「かなえば」にご来店をお待ちしています。また、出店希望の方は当まち協へ問い合わせください。フェイスブックで案内しています。

## 空き家セミナーと相談会

【日時】11月21日(土)  
 ○セミナー 午後1時~2時  
 ○相談会(前日までに要予約) 午後2時15分~4時15分  
 【場所】市役所会議室  
 【主催】宇陀市・NPO法人 空き家コンシェルジュ  
 ※相談会の日以外は、常設の相談員が相談を受けています。お気軽にご連絡ください。  
 【連絡先・受付時間】  
 NPO法人 空き家コンシェルジュ  
 ☎/FAX: 0744-356211  
 月~土曜日 午前9時~午後5時



## ザクロ

ザクロは、ペルシャでは紀元前から果樹として栽培され、観賞用にも植えられていたそうです。日本には平安時代に中国から伝来したといわれています。

ザクロは、502年に書かれた「名医別録」という書物に「石榴皮」として記載されて以来、条虫(サナダムシ)や、かい虫、十二指腸虫などの寄生虫駆除薬として名をはせました。これは樹皮、根皮、果皮などに含まれるペレタイエリンの作用で、この成分に駆虫作用があったからです。このため、糞尿を肥

料として利用していた時代は、誰にでも必要な生薬だったのです。ところが、農業改革が進み、それらへの感染の恐れが無くなると、忘れ去られた生薬となりました。

ザクロの皮であるザクロ皮には、色覚異常をおこし、目の前が真っ黄色に見えるという副作用があることも、ザクロが身近な薬草でなくなった理由でした。

果汁を発酵させると、シャルバットというワインを作ることができます。とてもおいしいので、もう一度見直してはどうでしょうか。



▲皮や花には、止瀉、整腸剤として、下痢止め、各種出血、おりもの、乗り物酔いなどの不快症状にも効果があります。  
 ※当市で「薬草活用講演会」をしていたいた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

薬草道遥(やくそうしょうようよう) 毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けするコラムです。